

2 来年度の研究計画

研究第二年度である来年度は、以下のように研究を行う予定である。

コンピテンシー班では、初年度に得た基礎資料からコンピテンシー・ディクショナリーの内容を精査し、コンピテンシー調査票案を作成する。作成されたコンピテンシー調査票案を、社会福祉士養成校協会加盟校に配布し、1校 10～30 人程度の学生に記入してもらう。その際に、各項目への回答だけではなく、各項目の記入の容易性、理解性を尋ねる項目を付記する。その上で、再度班会議において分析を行い、第1次案コンピテンシー調査票を作成し、コンピュータソフト化する。作成されたコンピュータソフトにより、再度プリサーベイを行う。プリサーベイの結果を検討し、調査票の作成並びに 360° フィードバックに向けてのコンピュータシステムの構築を行う予定である。最終年度には、学生、養成校教員、実習指導者の三者による 360° フィードバックが可能な調査票かどうか等についての検討を行う。

スーパービジョン班においては、初年度に検討したヒアリング調査をまとめるとともに、より詳細なヒアリング項目を検討する。第二年度は、量的調査の実施に向けての調査項目案の検討を行い、諸外国の動向と用語の定義等について検討し、確認を行っていく予定である。

(東洋大学 藤林慶子)

平成14年度
「社会福祉士専門職教育における現場実習指導教育に関する研究」
研究報告書

(平成15年度厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業)

2003年3月発行

社団法人日本社会福祉士養成校協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8

森山ビル西館501号室

TEL 03-5369-2737

FAX 03-5369-2572

<http://www.jascsw.jp/>
